

高

知市議会だより

No.197
平成27年
6月1日
高知市
議会事務局
(年4回発行)



新1年生と新7年生を迎えての入学式（小中一貫校土佐山学舎）

主な内容

- 2頁 平成27年度当初予算を可決
- 3頁 3月定例会を振り返って 会派の意見
- 4頁 地方創生に向けて
- 5頁 いきいきと安心して暮らすために
多様な保育の確保に向けて
休憩室
- 6頁 鳥獣被害から暮らしを守る
観光客を呼び込む
可決した主な議案
- 7頁 委員会の活動
請願・陳情の結果
- 8頁 意見書
議会情報公開制度
・個人情報保護制度の利用状況

市長提出議案 指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正議案など、99件の議案を全て原案のとおり可決しました。
議員提出議案 報酬並びに費用弁償条例の特例に関する条例制定議案など2件を提出し、いずれも可決しました。また、ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書議案など14件の議案を提出し、うち6件を可決しました。

③月定例会（第448回）を3月5日から24日までの20日間の会期で開催しました。開会日には、行財政改革調査特別委員会、南海地震対策調査特別委員会および都市再生調査特別委員会が中間報告を行いました。その後、市長が平成27年度一般会計予算など99件の議案について提案理由説明を行いました。10日から17日までの質問では、代表質問に5人、個人質問に14人（うち7人が一問一答方式を選択）が立ち、地方創生に向けた取り組み、防災対策、福祉施策、教育行政などについて質問を行いました。

平成27年度当初予算を可決

～地方創生による「にぎわいと安心のまちづくり」～

本市は、平成27年度から31年度までの5カ年で約46億円の財源不足が見込まれているため、行財政改革の着実な実施に加え、投資事業の平準化などにより、收支の均衡を図っていくこととしています。このようなかで、27年度当初予算は、南海トラフ地震対策をはじめとする安全・安心のまちづくりを最重点に、総合計画第2次実施計画に登載された実施事業を着実に推進することを基本とし、地域や市民生活に密着した事業を中心とした予算編成となっています。

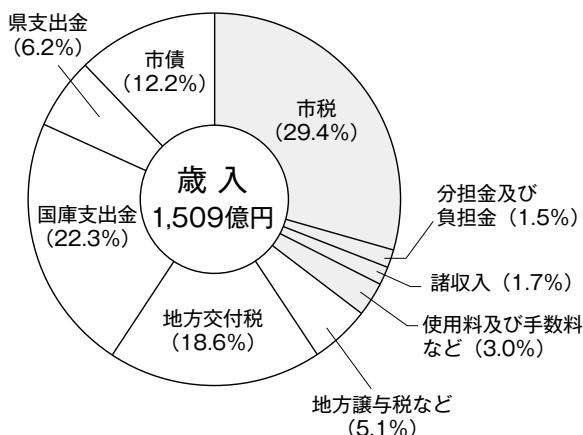
市長当初予算説明要旨

まちの環

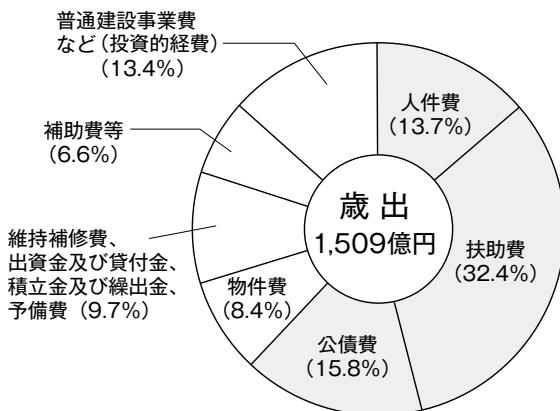
官民連携基盤整備調査事業では、人口が減少している本市南部の低未利用地を利用し、地域の強みを生かした交流・活性化

の拠点として地域振興を図るとともに、桂浜との連携・一体化による観光振興と併せて、南海トラフ地震への備えにもつながる事業活動等を推進するため、基盤整備に関する調査を行う。(仮称)北消防署では、基本構想を策定し、基本・実施設計

自主財源



平成27年度 一般会計予算構成



義務的経費

自立の環

公共施設マネジメントの推進については、26年度に策定した公共施設白書に基づき、国から求められている公共施設等総合管理計画として位置付けられる公共施設マネジメント基本計画を策定する。

育みの環

新図書館等複合施設整備事業では、工期延長と新庁舎建設の関係から、来春には市民図書館本館および点字図書館を解体し、同複合施設の西敷地に仮設図書館を設置する。

中山間災害情報支援システムモデル事業では、26年8月の豪雨災害を受け、災害現場と災害対策本部を結ぶシステムを鏡・土佐山地域に導入する。人にやさしい低炭素都市の実現に向け、省エネルギー設備の導入を伴う事業所の移転や新增設の際に、初期投資を軽減する

新産業団地整備では、県市共同で取り組んでいる(仮称)高知一宮団地においては、残る用地の取得および開発協議等を経て工事に着手し、28年度中の工事完了を目指す。また、(仮称)仁井田産業団地については、実施設計や用地取得に向けた調査委託等を進める。

寺内憲資(公明党)、江口善子(日本共産党)、高橋正志(公明党)、門田権四郎(市民クラブ)はた愛(日本共産党)は12日個人質問を行った。戸田二郎(新こうち未来)、清水おさむ(新風クラブ)は13日個人質問を行った。

市長提出議案提案理由説明と分析に努め、湛水被害の軽減に向けて暫定的な対策を含めた調査・検討を進める。

地産の環

春野町の排水対策では、仁ノ地区に増設する排水機場の基本設計を完了させ、用地測量および実施設計を進める。また、西畑地区については、課題の把握と分析に努め、湛水被害の軽減に向けた暫定的な対策を含めた

に着手しており、27年度は用地取得および基本・実施設計の完了後、本体工事に着手し、29年に着手を目指す。

審議日程 (3月定期会)

5日	開会	行財政改革調査・南海地震対策調査・都市再生調査特別委員会中間報告
10日	代表質問	市長提出議案提案理由説明
12日	寺内憲資(公明党)	江口善子(日本共産党)
13日	高橋正志(公明党)	門田権四郎(市民クラブ)
14日	はた愛(日本共産党)	戸田二郎(新こうち未来)
15日	清水おさむ(新風クラブ)	清水おさむ(新風クラブ)
16日	川村貞夫(新こうち未来)	田鍋剛(市民クラブ)
17日	下元博司(日本共産党)	浜口卓也(新こうち未来)
18日	西森美和(公明党)	下本文雄(日本共産党)
19日	深瀬裕彦(市民クラブ)	浜川總一郎(新風クラブ)
20日	人事議案提案理由説明	常任委員会
閉会	採決	採決

地方創生に向けて

わが国が直面する人口減少と地域経済縮小の悪循環という課題の克服に向け、国は、まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」および同「総合戦略」を決定し、各自治体に対し「地方戦略」を平成27年度中に策定するよう求めています。

これを受けて本市でも、市の特色や地域資源を生かした実効性のある「高知市版総合戦略」(以下、本市戦略)の今秋の策定に向けて取り組んでいます。

本市における将来の人口予測について所見を聞く。
○人口予測
答 本市人口は、2040年には26万人になるという厳しい予測がなされている。

特に、10代後半から20代前半の世代が大幅な転出超過となっており、その転出先は関東圏や近畿圏が多数を占めている。このことから、大学に進学された方々が、県内で就職できていな状況など、本市の雇用環境が人口減少に大きな影響を与えていいると考えている。

○本市戦略
答 本市戦略の策定について聞く。

国の総合戦略では、基本目標として雇用の創出、移住・定住、子育て支援、地域連携の

4つが示されている。

本市においても、これらの目標をしっかりと掲げ、若い世代を支援しながら人口減少を食い止める必要がある。この本市戦略の実効性を高めるため、産業機関、労働・民間団体、報道機関の方々など、幅広い有識者で構成する外部の推進組織を立ち上げ、さまざまな専門的意見をいただき。

併せて、府内の連携を図りつつ協議を重ね、議会の意見も積極的に取り入れ、本年9月には、本市戦略の原案を示したい。

○本市の最上位計画である総合計画と本市戦略の関連について聞く。
答 平成23年3月に策定した現在の総合計画は、東日本大震災の教訓が十分に反映されないことと併せて、本市を取り巻く状況も大きく変化していることから、27年度から見直しを行うこととしている。

また、本市戦略も総合計画と同様に今後の市政の方向性を左右する非常に重要な計画と位置付けており、その内容については、総合計画の柱の一つとしてしっかりと反映させていく。

○財政措置について聞く。
答 国においては地方創生闇

と27年度当初予算を合わせると、全体で1兆円を超える予算が確保されている。

国の総合戦略は5年間を基本とした計画であるため、この期間中は財政措置があるものと考

えているが、その後も事業を継続する必要があると見込んでい

ることから、必要な財源が確保されるよう全国市長会や全国市議会議長会とともに働きかけていきたい。

○交付金

この地方創生に関連して、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(以下、交付金)が創設されました。本市においても、地域経済の活性化や子育ての経済的負担の軽減を目的として、プレミアム付き商品券、龍馬のふるさと旅行券、子育て応援クーポン券を発行します。

また、安定した雇用の創出など地方が直面する構造的な課題への実効的な取り組みとして、ものづくり創生支援事業などを実施しています。

どのように見込んでいるか。
答 プレミアム付き商品券と龍馬のふるさと旅行券では、レバレッジ効果(投入分以上の消費喚起が得られる効果)を見込んでいる。

補助額の5倍のレバレッジ効果が見込まれるが、商品券の全てが新たな消費につながるわけではなくでいる。

（中嶋副市長が退職）

中嶋重光副市長が3月31日付で退職されました。

3月定例会最終日の本会議で市長が感謝の言葉を送り、さらに議会を代表して中澤はま子議員が感謝演説を行いました。これを受けて中嶋副市長が謝辞を述べました。

井上 哲郎

植田 茂 氏原 光隆

小笠原 二雄 田村 二郎

土居 静穂

長山 洋一

西 宏章

西山 直子

山本 洋子

3月定例会最終日の24日に、

市長から副市長、固定資産評価審査委員会委員の選任議案が提出され、それぞれ同意しました。

副市長に、議会を代表して中澤はま子議員を務めた5人が、市長から表彰されました。

人事議案

Aサイクルにより事業を実施する計画である。また、事業効果の検証については、さまざまな分野の関係者による検証機関を設けるとともに、議会のチェックや評価を行なう。

また、事業効果の検証については、予防接種の受診率向上や観光産業全体に大きな経済効果をもたらすことを期待している。子育て応援クーポン券については、予防接種の受診率向上や観光産業全体に大きな経済効果をもたらすことを期待している。

子育て応援クーポン券については、予防接種の受診率向上や

体育施設の利用率向上などが成果指標として考えられる。

また、地方創生先行型の交付金事業については、1年間で50名の新たな雇用創出や、130組の移住者増加などの成果指標を設定しており、事業のバージョンアップを図りながら着実な成果につなげていく。

3月24日に、市議会本会議場で、高知市功労者の表彰式が行われました。12年近く市議会議員を務めた5人が、市長から表彰されました。

表彰された議員

高木 妙

上田 貢太郎

山根 堂宏

土居 ひさし

愛

3月24日に、市議会本会議場で、高知市功労者の表彰式が行われました。12年近く市議会議員を務めた5人が、市長から表彰されました。

表彰された議員

高木 妙

上田 貢太郎

山根 堂宏

土居 ひさし

愛

3月24日に、市議会本会議場で、高知市功労者の表彰式が行われました。12年近く市議会議員を務めた5人が、市長から表彰されました。

表彰された議員

高木 妙

上田 貢太郎

山根 堂宏

土居 ひさし

愛

3月24日に、市議会本会議場で、高知市功労者の表彰式が行われました。12年近く市議会議員を務めた5人が、市長から表彰されました。

表彰された議員

高木 妙

上田 貢太郎

山根 堂宏

土居 ひさし

愛

3月24日に、市議会本会議場で、高知市功労者の表彰式が行われました。12年近く市議会議員を務めた5人が、市長から表彰されました。

表彰された議員

高木 妙

上田 貢太郎

山根 堂宏

土居 ひさし

愛



鳥獣被害から 暮らしを守る

近年、有害鳥獣は中山間地域にとどまらず、市街地の民家にまで姿を現しており、農作物の被害だけでなく、市民生活に関わる案件も発生しています。

このため、本市では、鳥獣による農林水産物等への被害防止を目的とした鳥獣被害防止計画を策定するとともに、その内容を見直しながら、実効性のある対策となるよう取り組みを進めています。

本市の現状

問 第2次鳥獣被害防止計画（平成24～26年度）の達成状況について聞く。

答 イノシシについては、平成21年度から23年度までの平均値（被害面積40・7ヘクタール、被害金額338万1000円）を超えることはなかつたが、26年度の目標値（同21ヘクタール、170万円）まで抑えることはできていない。

一方、カラスについては目標値（同17ヘクタール、69万円）、猿については目標値（同3ヘクタール、49万円）まで抑える計画であつた。これらについて、被害面積は計画を達成できたが、被害金額は目標値まで抑えることはできなかつた。

問 有害鳥獣対策専門官を配置した目的と成果について聞く。

答 有害鳥獣対策として、本市では狩猟等の知識、経験が豊富で、迅速かつ機動的な活動を行う専門職員として平成26年度から同専門官を配置した。

問 第3次計画や平成27年度の取り組みについて聞く。

答 第3次計画（27～29年度）

（）では、駆除の対象鳥獣をこれまでのイノシシ、猿、カラスの3種類に、ハクビシン、タヌキ、ニホンジカ、カワウなど11種類を加え、合計14種類とした。また、事務手続の簡素化など駆除従事者の負担軽減を図るとともに、迅速かつ効果的な捕獲体制の整備に向けて、市職員で構成する鳥獣被害対策実施隊の設置も進めしていく。

そして、地域ぐるみでの鳥獣被害防止を目的に、生息状況等に関する情報把握に努め、地域単位で侵入防護柵の設置等を進めるとともに、狩猟免許取得の

具体的な活動として、国事業を活用し、本年2月に久礼野地区に約3キロメートルの防護柵の設置を行つた。

さらに、これまで旧市内、鏡、土佐山地域で個別に行つていたカワウの駆除対策について、鏡川漁協の要請により、同漁協内にカワウ対策のための組織を立ち上げ、鏡川流域が一体となつた駆除体制を構築した。

観光客を呼び込む



龍馬生誕180年

本年は、坂本龍馬が1835年11月15日、高知城下本丁筋に誕生して180年の節目の年となります。

これを本市の観光客誘致につなげるとともに、龍馬の功績を後世へと引き継いでいくため、さまざまな事業が計画されています。

問 龍馬生誕180年関連事業の概要を聞く。

答 主な事業としては、鹿児島、山口、高知の中学生による

「平成の薩長士・中学生フォーラム」の開催や、桂浜の龍馬像

の米寿祝イベント、帆船の誘致、龍馬の生まれたまち記念館

啓発等により狩猟者の確保を図るなど、鳥獣の捕獲と防除の両面を強化することで積極的な鳥獣被害対策に取り組んでいく。

問 新たな捕獲報奨金制度の創設について聞く。

答 以前から要望があり被害が深刻化しているカラスとカワウの捕獲に対し、それぞれ1羽につき500円の捕獲報奨金を創設した。

今後、現在の報奨金制度の検証や、近隣自治体との整合性を図りながら、対象鳥獣の設定、報奨金額の見直しなどに取り組んでいく。

また、国内だけでなく海外へも広がる龍馬ファンによる「全国龍馬ファンの集い高知大会」の開催など、多彩な事業を展開し、龍馬のふるさと高知を積極的にアピールしていく。

問 クールジャパン戦略について聞く。

答 本市には独自の歴史や文化があり、それらを海外に向けて効果的に情報発信していくことが重要である。そのため、近年増加している外国客船の寄港に合わせて、関係者と意見交換会を行うなど、県と連携した取り組みを実施している。

また、よさこい発祥の地高知をPRするため、台湾最大の祭りランタンフェスティバルへ踊り子を派遣した。このほか、香

港では本市の農商工連携事業で生まれたスイーツが好評を博しており、商品や土佐のおきやくのPRを行うなど、クールジャパン戦略を踏まえた外国人観光客誘致に取り組んでいく。

主な議案

- 子ども科学館（仮称）展示製作等業務委託契約締結議案
標記業務について、高知県との間に価格2億4,997万6,000円で委託契約を締結しようとするもの。
- 放課後児童健全育成条例の一部改正議案
児童福祉法の改正に伴い、放課後児童健全育成事業の対象児童が拡大されたことから、規定の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。
- 中山間地域暮らし体験滞在施設条例制定議案
中山間地域への移住・定住を促進し、もって中山間地域の振興を図るために、標記施設を設置することについて、条例を制定するもの。

委員会の活動

1月16日から
5月1日まで

厚生委員会

3月定例会

18、19日に放課後児童健全育成条例の一部改正議案など34件の議案の審査を行いました。平成27年度一般会計予算、27年度国民健康保険事業特別会計予算、27年度介護保険事業特別会計予算、国民健康保険条例の一部改正議案は賛成多数で、その他の議案は賛成も全員賛成で可決し、陳情4件の結果を出しました。また、消防署所再編計画2015についてなど3件の報告を受けました。

総務委員会

2月10日

また、子ども・子育て支援事業計画についてなど6件の報告を受けました。

経済文教委員会

3月定例会

18、19日に新図書館西敷地利活用検討委員会条例制定議案など27件の議案と陳情2件の審査を行いました。

平成27年度一般会計予算は賛成多数で、その他の議案はいずれも全員賛成で可決し、陳情2件の結果を出しました。

建設環境委員会

3月定例会

18、19、20日に手数料並びに延滞金条例の一部改正議案など29件の議案と陳情4件の審査を行いました。

平成27年度一般会計予算、特別職の職員の倫理に関する条例の一部改正議案、報酬並びに費用弁償条例の一部改正議案、市长等の給与、旅費等に関する条例の一部改正議案、職員の退職手当に関する条例の一部改正議

都市再生調査特別委員会

2月9日

本会議で中間報告を行いました。

南海地震対策調査特別委員会

1月30日

災害時ににおける避難行動要支援者の避難支援マニュアルについてなど3件の報告を受けました。

本会議で中間報告を行いました。

録画配信（インターネット）

過去1年間の本会議（定例会）について、インターネットで配信しています。高知市ホームページから議会中継（録画）専用ページに入るといつも、議員名、発言内容の語句等から検索も可能です。

高知市ホームページへのアクセスは
[高知市](#)

会議録の閲覧
3月定例会本会議の会議録は
6月上旬にできる予定です。
本庁舎4階の情報公開センタ
ーでご覧になります。
また、高知市ホームページ上で、
本会議は平成6年12月定例会以降
以降の会議録をご覧いただけます。

3月定例会で 結果の出た 請願・陳情

【採択】

- 秦地域の抜本的な浸水対策を求める件
- 三里ふれあいセンターに関する件
- TPP交渉に関する意見書提出の件

【不採択】

- 桂浜公園再整備計画に関する件
- 2017年4月の消費税率10%への再引き上げ中止を求める意見書提出の件
- 郵便と金融のユニバーサルサービスを提供する義務を全うできる株式処分のあり方の検討を求める意見書提出に関する件
- 平和学習資料室の設置に関する件

録画DVDの貸し出し

本会議の中継放送を録画したDVDの貸し出しを行っています。貸し出し準備に時間要するため、ご希望の方はあらかじめ議会事務局までお申し込みください。（☎ 823-9400）

アプリ配信を始めます

市議会だよりが6月から無料アプリ「i広報紙」を利用してスマートフォンなどで閲覧できるようになります。「i広報紙」は、AppStore、またはGooglePlayから無料でダウンロードできます。アプリをダウンロードし、居住地設定を高知市にすると市議会だより発行月の1日に最新号配信の通知が届きますので、ぜひご活用ください。



